

〔目次〕

	ページ
2018年3月期 第2四半期業績……………	1
2018年3月期 通期業績見通し……………	3
業績の推移(連結)……………	5
会社概要・事業構成・当社の強み……………	6
基本方針・中期戦略……………	7
事業内容……………	8
主なページへのリンク……………	9
IRお問合せ先……………	10

2018年3月期 第2四半期実績 (2017年11月7日発表)

【前年同期比】減収減益

- ① 「選挙システム機材」の販売が、前年に実施された参議院選挙需要の反動減の影響を受けました。
(10月22日に実施された衆議院選挙向け機材の売上は、一部のみが上半期に計上され、大部分は下半期の売上となります。)
- ② 「印刷システム機材」や「情報システム機材」などの事業において減収となりました。

第2四半期決算短信

(百万円以下切捨)

連結	2017年3月期 第2四半期累計実績 (2016年4月～9月)		2018年3月期 第2四半期累計実績 (2017年4月～9月)		差異	増減率
	売上高	営業利益	経常利益	純利益		
売上高	182億9900万円	161億2400万円	21億7500万円減	11.9%減		
営業利益	9億9900万円	△9200万円	10億9100万円減	—		
経常利益	10億5800万円	△5000万円	11億800万円減	—		
純利益	6億9200万円	6800万円	6億2400万円減	90.1%減		
1株当り純利益	93円09銭	9円21銭	*「親会社株主に帰属する当期純利益」を「純利益」と表記。			

(百万円以下切捨)

単体	2017年3月期 第2四半期累計実績 (2016年4月～9月)		2018年3月期 第2四半期累計実績 (2017年4月～9月)		差異	増減率
	売上高	営業利益	経常利益	純利益		
売上高	171億7600万円	144億4200万円	27億3400万円減	15.9%減		
営業利益	4億4900万円	△8000万円	5億2900万円減	—		
経常利益	5億4800万円	1000万円	5億3800万円減	98.2%減		
純利益	3億5000万円	1億2500万円	2億2500万円減	64.3%減		
1株当り純利益	47円11銭	16円85銭				

事業セグメント別実績対比

連結

(百万円以下切捨)

		2017年3月期 第2四半期累計実績 (2016年4月～9月)	2018年3月期 第2四半期累計実績 (2017年4月～9月)	差異	増減率
情報・印刷・産業 システム機材	売上高	110億1100万円	101億7700万円	8億3400万円減	7.6%減
	営業利益	△1億2700万円	△1億5600万円	2900万円減	—
金融汎用・選挙 システム機材	売上高	42億1700万円	26億4100万円	15億7600万円減	37.4%減
	営業利益	10億4800万円	100万円	10億4700万円減	99.9%減
紙・紙加工品	売上高	29億6200万円	32億600万円	2億4400万円増	8.2%増
	営業利益	200万円	△800万円	1000万円減	—
不動産賃貸・リース 事業	売上高	1億800万円	1億円	800万円減	7.4%減
	営業利益	7400万円	6900万円	500万円減	6.8%減
合 計	売上高	182億9900万円	161億2400万円	21億7500万円減	11.9%減
	営業利益	9億9900万円	△9200万円	10億9100万円減	—

● 情報・産業システム機材：

スキャナー等の電子化機器の販売は順調でしたが、「文書のデジタル化事業」において大口案件の減少などの影響により前年同期実績を下回りました。

● 印刷システム機材：

予想を超える印刷需要の低迷と販売単価の下落、競合激化などの影響により、印刷機器・材料の販売ともに前年同期実績を下回りました。

● 金融汎用システム機材：

金融機関や流通業における貨幣処理機器の更新の遅れと、セキュリティ機器の商談遅延の影響を受けたため前年同期実績を下回りました。

● 選挙システム機材：

7月の東京都議会選挙をはじめ地方選挙向けに機器や投開票システムの販売が好調だったほか、9月の衆議院解散により同選挙向け投票用紙を中心とした機材販売の一部が上乘せとなりました。

しかし、昨年は7月に参議院選挙が実施され、同選挙向け機材販売のほとんどが上半期に計上された反動減により前年同期実績を下回りました。

● 紙・紙加工品：

① 印刷用紙の販売は需要減少の影響を受けたものの、医薬品や化粧品向け紙器用板紙の販売が伸長したこと、② エム・ビー・エス株式会社を9月1日に子会社化した影響で、同社の売上高(9月の1ヶ月分)が上乘せとなり、前年同期を若干上回りました。(連結売上高)

単体

(百万円以下切捨)

		2017年3月期 第2四半期累計実績 (2016年4月～9月)	2018年3月期 第2四半期累計実績 (2017年4月～9月)	差異	増減率
情報・産業 システム機材		34億円	28億9600万円	5億400万円減	14.8%減
印刷システム機材		66億円	61億3400万円	4億6600万円減	7.1%減
金融汎用 システム機材		10億9100万円	9億8000万円	1億1100万円減	10.2%減
選挙システム機材		31億2000万円	16億5800万円	14億6200万円減	46.9%減
紙・紙加工品		29億6200万円	27億7200万円	1億9000万円減	6.4%減
売上高合計		171億7600万円	144億4200万円	27億3400万円減	15.9%減

2018年3月期 通期業績見通し (2017年11月7日発表)

【前年比】衆議院選挙の実施により下期業績を大幅修正

通期は増収・営業増益の見込み

- ① 10月に実施された衆議院選挙向けに機材販売が大幅に伸長。参議院選挙が実施された前年比で増収の見通しです。
- ② 9月に子会社化したエム・ビー・エス(株)の業績が上乘せとなります。(連結)

(百万円以下切捨)

連 結		2017年3月期実績 (2016年4月～2017年3月)	2018年3月期見通し (2017年4月～2018年3月)	差 異	増減率
	売 上 高	352億6800万円	383億6900万円	31億 100万円増	8.8%増
営 業 利 益	11億 700万円	11億7000万円	6300万円増	5.6%増	
経 常 利 益	12億4200万円	12億1100万円	3100万円減	2.5%減	
純 利 益	7億8100万円	8億3600万円	5500万円増	6.9%増	
1株当り純利益	105円03銭	112円31銭			
		参議院選挙実施	衆議院選挙実施		

*「親会社株主に帰属する当期純利益」を「純利益」と表記。

(百万円以下切捨)

単 体		2017年3月期実績 (2016年4月～2017年3月)	2018年3月期見通し (2017年4月～2018年3月)	差 異	増減率
	売 上 高	329億4100万円	322億9200万円	6億4900万円減	2.0%減
営 業 利 益	4億6200万円	5億 400万円	4200万円増	9.1%増	
経 常 利 益	6億6400万円	6億6500万円	100万円増	0.2%増	
当 期 純 利 益	4億 100万円	5億1800万円	1億1700万円増	29.2%増	
1株当り純利益	53円88銭	69円59銭			

事業セグメント別見通し対比

連結

(百万円以下切捨)

	2017年3月期実績 (2016年4月～2017年3月)	2018年3月期見通し (2017年4月～2018年3月)	差異	増減率
情報・印刷・産業システム機材	229億8500万円	228億9300万円	9200万円減	0.4%減
金融汎用・選挙システム機材	61億7000万円	66億2600万円	4億5600万円増	7.4%増
紙・紙加工品	58億9500万円	86億4700万円	27億5200万円増	46.7%増
不動産賃貸・リース事業等	2億1600万円	2億 200万円	1400万円減	6.5%減
売上高合計	352億6800万円	383億6900万円	31億 100万円増	8.8%増

単体

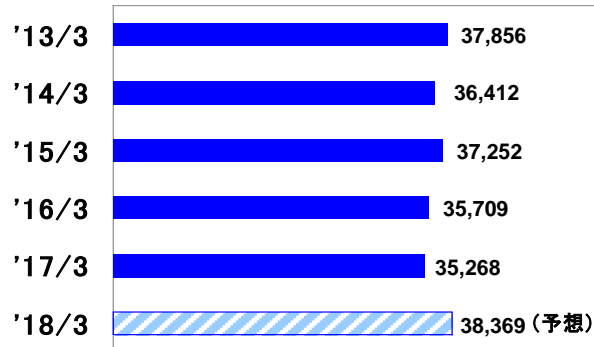
(百万円以下切捨)

	2017年3月期実績 (2016年4月～2017年3月)	2018年3月期見通し (2017年4月～2018年3月)	差異	増減率
情報・産業システム機材	73億8000万円	67億7600万円	6億 400万円減	8.2%減
印刷システム機材	135億円	131億7400万円	3億2600万円減	2.4%減
金融汎用システム機材	21億9400万円	24億3000万円	2億3600万円増	10.8%増
選挙システム機材	39億6900万円	41億7800万円	2億 900万円増	5.3%増
紙・紙加工品	58億9500万円	57億3200万円	1億6300万円減	2.8%減
売上高合計	329億4100万円	322億9200万円	6億4900万円減	2.0%減

業績の推移(連結)

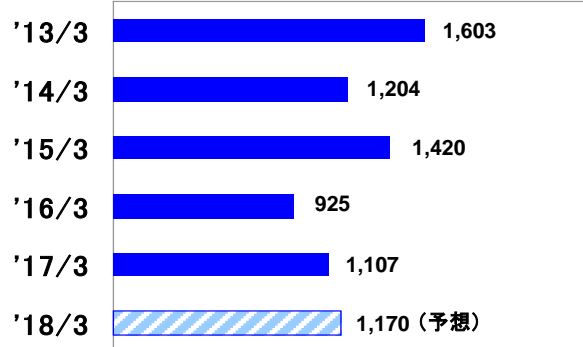
売上高

(単位:百万円)



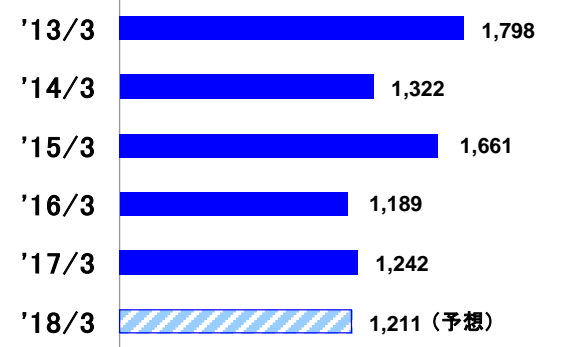
営業利益

(単位:百万円)



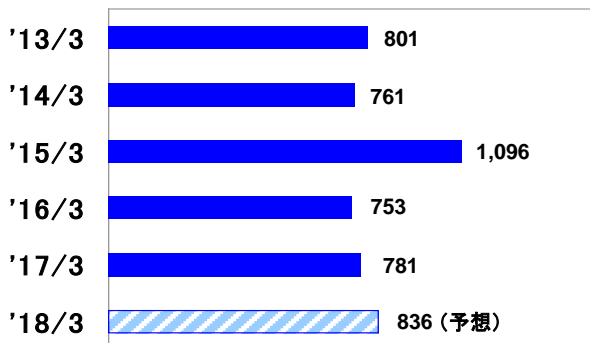
経常利益

(単位:百万円)



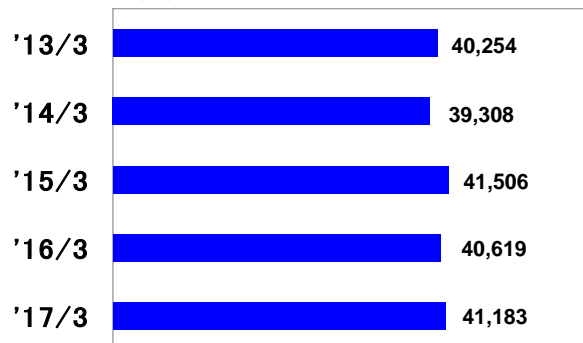
純利益

(単位:百万円)



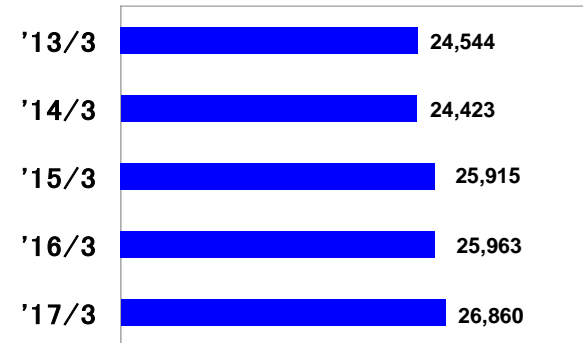
総資産

(単位:百万円)



純資産

(単位:百万円)



*「親会社株主に帰属する当期純利益」を「純利益」と表記。

	'13/3	'14/3	'15/3	'16/3	'17/3
自己資本比率	61.0%	62.1%	62.4%	63.9%	65.2%
1株当り当期純利益	100.94円	100.60円	147.24円	101.18円	105.03円
ROE	3.3%	3.1%	4.4%	2.9%	3.0%
ROA	4.5%	3.3%	4.1%	2.9%	3.0%

会社概要

商号	株式会社 ムサシ
証券コード	7521
上場	ジャスダック市場 (1996年10月上場)
本社	東京都中央区銀座8-20-36
設立	1946年12月
代表者	代表取締役社長 羽鳥 雅孝
従業員	連結539名/単体230名(2017年3月31日現在)
関係会社数	子会社8社, 関連会社1社
HPアドレス	http://www.musashinet.co.jp



- 本社** 東京都中央区銀座
- 販売拠点** 全国に11支店、7営業所
- 生産拠点** 武蔵エンジニアリング(株) 横浜工場
- テクニカルサポート** ムサシ・フィールド・サポート(株) 全国59ヶ所

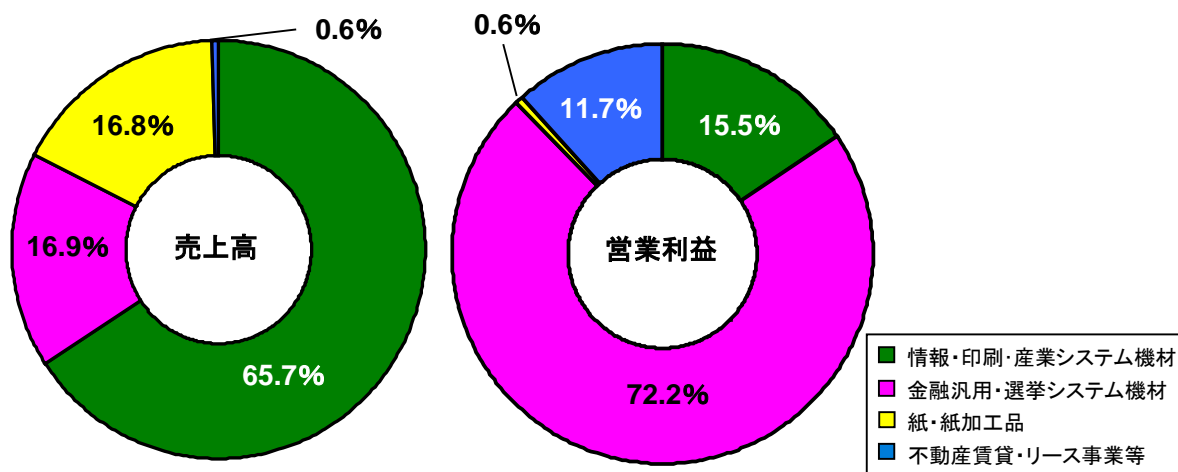


代表取締役社長 羽鳥雅孝

社長メッセージ

事業別構成

(5期平均：13年3月期～17年3月期)



当社の強み

- 収益基盤の多様化**
一つの事業の伸び悩みを他の事業が補完し、安定して収益を確保
- メーカー機能を併せ持つ**
商社である一方、子会社に設計・製造メーカーをもち、独自の商品開発機能を兼ね備える。
商品やシステムの企画・開発から設計・製造、販売、ソフト・技術サポートまでの一貫したサービスを提供。
- 安定した財務基盤**

〔基本方針〕

- **本業に徹しながら時代の流れや変化に対応し、
取扱商品・サービス内容を変えていく。
同時に本業の周辺分野に新しい事業開拓の芽を見出す。**

〔中期戦略〕

- **業績が特需によって左右されない体制の確立を目指し、
「新規事業の開発」や「新商品の開発」を強化する。**

- 「事業環境について」をクリックすると、
事業環境の詳細ページに移動します。

情報・産業システム
オフィスや自治体、学校、図書館などの様々な書類や書籍を情報として広く活用するため、デジタルデータに変換します。これら情報の入力・活用から記録、原本の管理・廃棄までの情報マネジメントを提供しています。
▶ 事業環境について

名刺・ハガキ印刷システム
印刷会社や印章店等向けに、名刺やカードなどを簡単操作で迅速に印刷するオンデマンドシステムを提供しています。
▶ 事業環境について

印刷システム
印刷会社向けに、印刷工程の効率化を図るデジタルプリプレスシステムや、少量印刷に最適なプリントオンデマンドシステムを、富士フィルムの特約店として提供しています。
▶ 事業環境について

紙・紙加工品
印刷会社や出版社向けに、様々な分野で使用される紙・特殊紙やパッケージなどの紙加工品を提供しています。
▶ 事業環境について

金融汎用システム
金融機関、デパート・スーパー、運輸交通業、宅配業等向けに、売上金の精算や現金の入出金業務に必要な貨幣処理機器や、セキュリティ機器を自社で開発・製造し提供しています。
▶ 事業環境について

選挙システム
全国の自治体向けに、投票用紙読取分類機などの機器から、自然に開く投票用紙、投票箱などの用品・用具、業務管理ソフト、選挙啓発プロモーションまで、選挙全般に関わる商品やサービスを提供しています。
▶ 事業環境について

● 知りたい情報をクリックすると、ホームページの該当ページに移動します。

社長メッセージを見る



IRニュースを見る

注目商品情報

・高性能レーザー加工機『FLEXI800』



・新機能”天地表裏反転ユニット”

投票用紙読取分類機『テラックCRS-VA』



株式情報を見る
(決算期・売買単位・上位株主等)



ムサシの歴史を見る



他のIR資料を見る



株式会社ムサシ 広報室

住所：〒104-0061 東京都中央区銀座8丁目20番36号

TEL: 03-3546-7710(直通)

FAX: 03-3546-7831

E-mail : ir@musashinet.co.jp